はやね はやおき 朝ごはん テレビを止めて外遊び

きずな

～きらきら にこにこ いきいき～

平成２８年度
別海町立上西春別小学校
学校だより №１３
平成２９年3月２４日
発行責任者
校長 横 澤 英 三

恕（じょ）

２月に続き、３月も穏やかな日が続きました。一昨年の記録的な悪天候を記録した冬とは打って変わり、臨時休校も１月２３日の１日だけで、平成２８年度を終えることができました（８月には、台風による臨時休校はありましたが）。

さて、去る3月１７日に卒業生３５名が、たくさんの想い出を胸に、６年間学んだ上西春別小学校を旅立ちました。この１年間先頭に立ち学校を引っ張ってくれた６年生に、心から感謝したいと思います。そんな卒業生に向けて、卒業式で次のお話をさせてもらいました。

皆さんは今日ここに小学校の課程を修了して、中学校へと進学します。おそらく、小学校での生活と大きく違う点が多く、戸惑うこと、つらいことも多々あると思います。でも、それを自分たちの力で乗り越えていかなければなりません。そんな未知の航海へと旅立つ皆さんに向け、校長先生から漢字を一文字送りたいと思います。

校長先生の好きな作家の一人に井上靖さんという人がいます。その井上靖さんの本に「孔子」という本があります。

孔子は今から二千五百年以上前の中国の有名な思想家です。その本に次のようなエピソードがあります。

ある日、孔子の一番弟子が孔子に「先生、たった一言で、一生それを守っておけば、間違いない人生が送れる。そういう言葉がありますか」と尋ねました。

孔子は「それは**恕**かな」と答えました。さらに続けて「己の欲せざる所、人に施す事なかれ」と言いました。意味は、「自分のしてほしくないことは、人にしてはいけない」ということです。

つまり「**恕**」とは思いやりという意味です。孔子は人間関係で最も大切なのは、思いやりである。そして、自分が嫌だと思うことは人にしないことであると説いているのです。

今までもそうでしたが、皆さんはこれからも周りの人たちと、お互いに支え合って生きていかなければなりません。支え合って生きるためには、孔子の「**恕**」が必要です。

世界のみんながこういう思いでいれば暮らしやすい世の中になるのではないでしょうか。この孔子の「**恕**」という漢字を皆さんに送りたいと思います。忘れないで下さい。

この１年間、上西春別小学校２２名の教職員は、児童の成長を願い、保護者の皆様や地域の皆様の御支援のもと、それぞれの持ち味を生かし、指導にあたって参りました。至らぬ点が多々あったと存じますが、１年間本当にありがとうございました。

来年度は、特別支援学級が１学級増えることや、初任者の加配が配置させることから、教員が３名増員となる予定です。今年度以上充実した教育活動が行えるよう、一層努力して参りたいと思います。来年度の御協力もよろしくお願いいたします。

校 長　　横澤 英三